



演奏の機会に向け練習に励む坂本彩乃さん

# 形問わず音色届ける

盛岡二高吹奏楽部 坂本彩乃さん

私は小学校4年生の時、友達に誘われてフルートを始めました。今もフルートなどを担当し、ピッチを合わせることで一つ一つの音を大切にすることを胸に吹いています。高校では東北大会出場を目指し、部長として個人や各パートに声を掛け、まとまりのある演奏を心掛けてきました。

心の準備はしていましたが、中止の決定を顧問から聞いたときは悔しさと悲しさがあふれました。みんなで助け合って協力していこうと声を掛けましたが、自分自身頭が真っ白でした。

コンクールで演奏する姿を後輩に見せられず残念です。後輩は伝統のソロ「ガン」「心響」を忘れず、東北大会出場を目指して頑張つてほしいと思います。

コンクールが全てではありません。自分たちの演奏をどんな形でも多くの人に届けたいと思っています。そのためにも今できる練習を大事にしたいと思います。部のみんな、顧問の先生、両親、お世話になった方々に感謝を伝えられる演奏の機会まで頑張ります。

岩手日報 2020年（令和2年）5月25日（月）付

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。